

平成16年11月1日

各 位

会 社 名 みずほ信託銀行株式会社

代 表 者 名 取締役社長 池田 輝彦

コード番号 8404 東証一部・大証一部

平成17年3月期中間決算の業績予想(連結・単体)の修正

平成17年3月期中間決算の業績予想(連結・単体)について、下記のとおり修正します。

記

1. 平成17年3月期中間決算の業績予想の修正

(単位：億円)

	連結			単体		
	経常 収益	経常 利益	中間 純利益	経常 収益	経常 利益	中間 純利益
前 回 予 想(A)(1)	1,000	110	55	850	90	50
今 回 修 正 予 想(B)	1,070	220	105	920	260	150
増 減 額(B-A)	+ 70	+ 110	+ 50	+ 70	+ 170	+ 100
増 減 率	+ 7.0%	+ 100.0%	+ 90.9%	+ 8.2%	+ 188.8%	+ 200.0%

(1)平成16年5月24日に発表したもの

2. 修正の理由

当社単体の経常収益、経常利益および中間純利益につきましては、実質業務純益(信託勘定償却前・一般貸倒引当金繰入前業務純益)が増加する見込みであること、株式等関係益の計上が見込まれること等に伴い、前回予想を上方修正するものです。

連結決算業績予想につきましても、上記の単体決算予想の修正に沿った変更を行なっております。

3. 平成17年3月期通期の業績予想

平成17年3月期通期の業績予想については、11月下旬に予定しております中間決算の業績発表の際に、必要に応じ修正の上、公表いたします。

以 上

【参考資料】

平成17年3月期中間決算の業績予想<単体+再生専門子会社>の概要

(単位:億円)

	前回予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
実質業務純益<>	220	290	70
与信関係費用	80	90	10
株式等損益	0	40	40
経常利益	100	190	90
中間純利益	55	100	45

<>信託勘定償却前・一般貸倒引当金繰入前業務純益

実質業務純益は290億円程度となり、前回予想比70億円程度増加する見込みです。

これは、融資関連手数料の増加、国債等債券関係損益の好調を主因とした資金部門粗利益の増収、不動産部門収益の増加など財管部門粗利益の増収、人・物件費の削減、によるものです。

なお、この実質業務純益は、前年同期と比較しても20億円程度増加しております。

与信関係費用は90億円程度となり、前回予想比10億円程度増加する見込みです。

なお、不良債権比率の削減について、当社は平成16年3月末に半減目標を達成しておりますが、この9月末においては、不良債権残高を400億円程度削減したことにより、不良債権比率は更に0.9%程度低下する見込みです。

ご参考 平成16年9月末における不良債権残高・比率(金融再生法開示債権ベース)

(単位:億円)

	16年3月末 実績	16年9月末 速報値
不良債権残高	1,912	1,520
総与信に対する比率	4.79%	3.9%

(注1)単体+再生専門子会社

(注2)部分直接償却実施後、銀行・信託勘定合算の計数。

株式等損益は40億円程度となり、前回予想比40億円程度増加する見込みです。

中間純利益は、上記の要因などにより、前回予想比45億円程度増加し100億円程度になる見込みです。

平成16年9月末の連結自己資本比率は、13%台半ばとなる見込みです。

以上

上記計数は、すべて平成16年11月1日時点の概算・速報値です。

平成17年3月期中間決算の最終確定値は、各種の要因により変動する可能性があります。